

研究課題名	内分泌代謝疾患における血清石灰化傾向（T50）の意義
研究の意義・目的	<p>内分泌代謝に関する病気と骨の代謝、動脈硬化が関連することは、現在までに多数報告されています。ただ、心血管疾患や総死亡に対して骨の代謝異常に伴った血管石灰化や動脈硬化がどのように関係しているのか、疾患特徴を含めて検討したものは少ないです。</p> <p>一方で、慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常の「病原体」として、リン酸カルシウムと Fetuin A という蛋白が結合したナノ粒子である Calciprotein particle (CPP) という物質があります。小型の球状粒子である Primary CPP はカルシウム、リンが存在しますと毒性の強い、大きな CPP (Secondary CPP) へと構造変化します。Serum calcification propensity (血清石灰化傾向：T50) とは、Primary CPP が Secondary CPP へと変換するのに要する時間のことです。慢性腎臓病、血液透析、腎移植患者を対象にした研究において、短い T50 が心血管イベント・死亡と関連しており、T50 は心血管イベントや総死亡の新しいマーカーになるのではないかと注目を集めています。そこで本研究では内分泌代謝疾患、糖尿病における各疾患指標と T50 の関連性を検討したいと考えています。この研究は、将来的な心血管イベントや総死亡リスクの予測および介入の必要性につながる可能性があり、臨床的意義は大きいと考えています。</p>
研究を行う期間	研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年12月を予定しております。
研究協力をお願いしたい方(対象者)	<p>大阪公立大学医学部附属病院（内分泌・骨・リウマチ内科、腎臓内科、生活習慣病・糖尿病センター）において通院・入院中の方</p> <p>先行研究である『内分泌代謝疾患、リウマチ・膠原病疾患における睡眠機能、自律神経機能、24時間血圧、骨代謝、身体機能、動脈硬化との関連性の検討』※(承認番号 3506)の同意を取得し、実施された方</p> <p>年齢 20 歳以上の方</p>
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程や上記先行研究で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>基本情報（年齢、性別、体重、慎重、血圧、内服内容、依存症、家族歴など）</p> <p>血液検査（ホルモン検査や各種負荷試験、腎血行動態検査の結果や、内分泌代謝疾患、リウマチ・膠原病疾患、2型糖尿病の診療で測定した項目）</p> <p>尿検査（アルブミン尿、蛋白尿、電解質、ホルモンなど）</p> <p>先行研究で研究用に採取し、保存されている血清・血漿合計 15ml、尿 10ml</p> <p>上記の保存されている資料（血清）を用いて Serum calcification propensity (血清石灰化傾向：T50) を測定します。</p> <p>24 時間血圧測定：ABPM(A&D)</p> <p>動脈硬化の評価：上肢下肢血圧比(ABI)、頸動脈エコー(IMT)、脈波伝播速度、血管内皮機能、腹部 CT (腎動脈石灰化指数)、head MRI(T2 star)</p> <p>睡眠の評価：アプノモニター</p> <p>骨指標：DXA: Dual-energy X-ray absorptiometry)、LD-100: 超音波骨密度測定装置（応用電機株式会社）</p> <p>筋肉量、脂肪量の評価：握力、歩行スピード、生体電気インピーダンス、DXA、腹部 CT (内臓脂肪面積)</p> <p>身体機能：握力、歩行スピード、呼吸機能検査</p> <p>イベントの発症：通常診療の範囲内で確認された、骨粗鬆症、骨折（椎体・非椎体）転倒、糖尿病、慢性腎不全（アルブミン尿、GFR60 未満）、末期腎不全（透析、腎臓移植）、要介護状</p>

	<p>態、感染症、悪性腫瘍、間質性肺炎、入院、心血管死亡(致死性心筋梗塞、致死性脳卒中、突然死)、非致死性心筋梗塞、非致死性脳梗塞・脳出血、総死亡、複合心血管イベント(心筋梗塞、心電図・心筋シンチ・冠動脈造形で確定された狭心症、PTCA、CABG、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血、足関節より中枢の下肢切断、下肢PTA、下肢バイパス術、弁置換手術)の発症、自律神経機能：アクティブトレーサー(GMS)</p>
<p>試料・情報の他機関への提供</p>	<p>この研究は大阪公立大学医学部附属病院 生活習慣病糖尿病センター・内分泌内科・腎臓内科のみで行い、他の機関に試情報は提供いたしません。</p>
<p>この研究を行っている共同研究機関</p>	<p>この研究は大阪公立大学医学部附属病院生活習慣病糖尿病センター・内分泌内科・腎臓内科のみで行います。</p>
<p>試料・情報を管理する責任者</p>	<p>大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学 研究責任者：上殿 英記</p>
<p>本研究の利益相反</p>	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>研究に協力をしたくない場合</p>	<p>下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学 (担当者氏名) 上殿 英記 電話番号：(06) 6645-3806 email：uedono1217@omu.ac.jp</p>